

# Newsletter: 日本音韻論学会

第13巻第1号(通巻36号)

2009年4月24日

## 『音韻研究』第12号発行

『音韻研究』第12号が発行されました。昨年度の会費を今年の3月末日までに納付された方には、このNewsletterとともに1部お送りしています。ご確認下さい。

2008年度春期研究発表会と音韻論フォーラム2008における講演・研究発表の中から、査読を経た研究論文7篇、招待講演論文4篇、学位取得者講演論文3篇、チュートリアル1篇の合計15篇が収められております。

## 会長・副会長交代について

任期満了にともない、3月末で窪菌晴夫氏が学会会長を、上田功氏が副会長を退任されました。4年に渡り、学会運営の中心として多大なご尽力をいただきましたことに、会員一同、感謝いたします。

2009年度から、新会長に上田功氏(大阪大学)、新副会長に田端敏幸氏(千葉大学)が就任いたしました。2012年度までの4年間、新体制へのご協力をお願いいたします。

## 2009年度春期研究発表会

2009年度春期研究発表会(通算第16回大会)を6月19日(金)に、大東文化大学(大東文化会館)で開催いたします(なお、6月20日~21日には日本言語学会が神田外国語大学で開催されます)。

プログラムは以下の通りです。奮ってご参加下さい。当日参加費を徴収します(一般・維持会員:1,000円、学生会員:500円、非会員:2,000円)。

発表会終了後、会員総会が行われますので、ご出席下さい。その後、懇親会が予定されています。こちらもぜひご参加下さい。懇親会の会費、会場については、当日お知らせいたします。

記

日時:2009年6月19日(金)13:00-17:25

場所:大東文化大学 大東文化会館ホール  
(東京都板橋区徳丸)

交通アクセス:東武東上線 東武練馬駅 徒歩3分  
(急行等は止まりませんので、ご注意ください)

[http://www2.daito.ac.jp/jp/uploads/profile/1213941001\\_DBkaikan\\_access.pdf](http://www2.daito.ac.jp/jp/uploads/profile/1213941001_DBkaikan_access.pdf)

問合せ:米山聖子(大会担当理事/E-mail:  
[yoneyama@ic.daito.ac.jp](mailto:yoneyama@ic.daito.ac.jp))または、学会事務局

### プログラム

13:00-13:05 開会・会長挨拶

セッション1 学位取得者講演

司会 米山聖子(大東文化大学)

13:05-14:15 松浦年男(北星学園大学)

「長崎二型音調の音韻論」(九州大学,2008)

セッション2 一般発表

司会 深澤はるか(慶応義塾大学)

14:30-15:15 伊藤智ゆき(東京外国語大学)

“Mandarin Loanwords in Yanbian Korean: Tones”

15:15-16:00 Michael Kenstowicz (MIT/TUFS)  
and Nabila Louris (Hassan II)

“Reverse Engineering: Emphatic Consonants and the Adaptation of Vowels in French Loanwords into Moroccan Arabic”

セッション3 海外研究者講演

司会 上田 功(大阪大学)

16:15-17:25 Stuart Davis (Indiana University)

“Constituent Demarcation in American English: Evidence for the Foot from Laryngeal Features and Child Language Acquisition”

17:30-18:00 総会

## 音韻論フォーラム2009

音韻論フォーラム2009が以下の予定で開催されます。韓国を含む海外からの招待講演ならびに学位取得者講演と一般研究発表で構成されています。期日:8月24日(月)~26日(水)

場所:神戸大学文学部(神戸市灘区六甲台町)

なお、フォーラム開催にあわせて、国際会議が開かれる可能性がありますので、今後の情報にご注意下さい。

## フォーラム研究発表募集

音韻論フォーラム2009の研究発表を、下記の要領で募集いたします。発表希望の方は奮ってご応募ください。プログラム等の情報は7月下旬発行予定のNewsletterにてお送りいたします。

本フォーラムでの発表内容は、編集委員会の査読を経て『音韻研究』第13号(2010年3月刊行)に掲載されることになります。学会誌への掲載という点からも、他学会との重複発表はくれぐれもご遠慮下さい。なお『音韻研究』への掲載は、発表1件につき、原則として8ページです。

発表(論文)テーマ:音韻論・音声学に関するもの、あるいは音韻論・音声学と他の分野とのインターフェースに関するもの。

使用言語:日本語または英語。

応募締切:2009年6月30日(火)

送付方法:「要旨」および「発表者情報」(氏名、所属、住所、電話番号、メールアドレスを明記したもの)を、下記の担当理事までEメールの添付ファイル、あるいは郵便でお送り下さい(なるべく、メールでの応募をお願いいたします)。いずれの場合も、「要旨」と「発表者情報」を別のシートに記載して下さい。

原稿送付先:寺尾 康(フォーラム2009担当理事)

〒422-8526 静岡県駿河区谷田 52-1  
静岡県立大学 国際関係学部

E-mail: [teraoy@u-shizuoka-ken.ac.jp](mailto:teraoy@u-shizuoka-ken.ac.jp)

書式：A4 サイズで、日本語の場合は 2000 字以内、  
英語の場合は 800 語以内（いずれも追加で図表・  
文献 1 ページ以内）。

ファイル形式（メール送付の場合）：PDF 形式が望  
ましい（Word 形式で、特殊文字などによる文字  
化けの可能性のある場合は、フォントを埋め込  
んだ PDF ファイルにして下さい。事前に余裕を  
持って、担当理事にご相談下さい）。

書式を守っていない、あるいは期限に間に合わない  
応募原稿は無効としますので、ご注意下さい。

7 月中旬に発表の可否を通知予定です。

### 旅費の補助について

学会では、若手研究者への支援を目的として、  
フォーラムや研究発表会の遠隔地からの発表者で、  
かつ、非有職者（学生や非常勤講師等）を対象に、  
旅費の補助を行います（一人上限 2 万円）。応募者  
に対する審査と補助額の算定は事務局で行います。  
該当される方は奮って研究発表会ならびにフォー  
ラムの発表に応募して下さい。

### 『音韻研究』の購入方法

学会からの配布以外に『音韻研究』の購入を希  
望される会員は、会員特別価格で購入できます。  
また、本学会の前身である音韻論研究会編『音韻  
研究—理論と実践』についても、特別価格で購入  
できます。ともに、ご自身で直接開拓社にお申し  
込み下さい。その際、送付先、氏名、必要な号の  
番号、部数とともに、日本音韻論学会の会員であ  
ることをお伝え下さい。折り返し、開拓社より出  
版物と振込用紙が送られることになっております。  
詳しくは、開拓社にお問い合わせ下さい。

開拓社『音韻研究』係

〒113-0023 東京都文京区向丘 1-5-2 水上ビル 4F

電話：03-5842-8900 FAX：03-5842-5560

<http://www.kaitakusha.co.jp>

### 『音韻研究』定期購読のお願い

学会からの配布のほかに、勤務校の研究室・図  
書館などに、もう 1 冊、研究費等による『音韻研  
究』の定期購読をお願いいたします。

### 会費納入のお願い

日本音韻論学会は、会員の皆様からの「会費」  
により運営されております。会費納入にご協力下  
さいますよう、お願いいたします。

封筒の宛名下にある数字を参考にして、会費を  
納入して下さい。印字された数字のうち 8, 9 は、  
それぞれ 2008, 2009 の各年度の会費が未納であ  
ることを意味します。\*は、会費納入済みであるこ  
と、括弧付きの数字はその年度の会費が不足してい

ることを意味します。また、t は thousand の意味で、  
[5t] とあれば、5,000 円会費が未納、または不足し  
ていることを意味します。たとえば、「\*9[5t]」と  
印字されていれば、2009 年度の会費が未納で、そ  
の総額が 5,000 円であることを意味します。なお、  
この Newsletter 送付時には、ほとんどの方に [9]  
が印字されております。同封の振り込み用紙等に  
より、今年度（2009 年度）の会費を納入下さい。

また、年度にかかわらず、未納分の会費が納入  
され次第、当該年度の『音韻研究』を無料で送付  
しております。封筒をご確認の上、未納の会費を  
納入していただきますよう、お願いいたします。

会費（年額）は次の通りです。

維持会員（10,000 円）、

一般会員（5,000 円）、学生会員（4,000 円）

「維持会員」は本会を格別に支援して下さる会  
員です。年会費 1 万円を納入することにより、ど  
なたでも維持会員になることができます。ご検討、  
ご協力をお願い申し上げます。

会費納入には、次の二つの方法があります。

1. 郵便振込：同封の振込用紙を使い振込  
口座番号：00180-6-402077  
加入者名：日本音韻論学会
2. 研究発表会、フォーラムの会場で会計（桑本）  
に直接手渡す。領収書を発行します。

### 住所等変更通知と確認のお願い

会員情報（住所、所属、連絡先）が変更になった  
場合は、必ず事務局会計にご連絡下さい（学生会  
員から一般会員へと身分変更となる場合も必ずご  
連絡下さい）。連絡されないままにされますと、  
Newsletter や『音韻研究』等の配布物が正しく配  
送されませんので、ご注意をお願いいたします。

### 事務局の異動

3 月末をもって氏平明氏が事務局長を、岡崎正男  
氏が局長補佐を、田中真一氏が書記を退任し、4 月  
から新事務局長に田中真一氏（神戸女学院大学）  
が、新局長補佐に山本武史氏（広島女学院大学）  
が就任いたしました。

### 日本音韻論学会事務局

【事務局長】田中真一（神戸女学院大学）

〒662-8505 西宮市岡田山 4-1

神戸女学院大学 文学部 総合文化学科

TEL：0798-51-8635

E-mail：[tanaka@mail.kobe-c.ac.jp](mailto:tanaka@mail.kobe-c.ac.jp)

【局長補佐】山本武史（広島女学院大学）

〒732-0063 広島市東区牛田東 4-13-1

広島女学院大学 文学部 英米言語文化学科

TEL：082-228-0386

E-mail：[t-yama@gaines.hju.ac.jp](mailto:t-yama@gaines.hju.ac.jp)

【会計】桑本裕二（秋田工業高等専門学校）

〒011-8511 秋田市飯島文京町 1-1

秋田工業高等専門学校 人文科学系

TEL・FAX：018-847-6083

E-mail：[kuwamoto@akita-nct.jp](mailto:kuwamoto@akita-nct.jp)